

# (仮称)厚生産業会館の建設の是非を問う市民投票実施を提案

日本共産党議員団は20日、(仮称)厚生産業会館の建設の是非を問う市民投票実施の発議案を佐藤敏議長に提出しました(写真)。

発議案は、現在の基本設計に基づく(仮称)厚生産業会館の建設の是非について市民意見が二分されていて、市民に直接その賛成又は反対の意思を問う必要があるとして、市民投票を行うというものです。

この発議案の取り扱いについては23日の議会運営委員会で議論され、4日の本会議において私、橋爪が提案理由の説明を行います。その後、総括質疑、委員会審査を経て、3月議会最終日に採決されることになりました。注目です。

日本共産党議員団が昨年10月に行った市民アンケートには、2413通の回答が寄せられました。アンケートの結果は、「(約28億9500万円の)新提案による建設に賛成」が7・1%、「(約18



県災害救助条例が適用された大島区などで20日、高齢者世帯等の除雪状況を視察してきました。除雪にあたっている労働者からは、「時間が足りない」「無理をせざるを得ない」などの声も寄せられました。

## <自然災害に対する保育園のリスク要因の状況>

(2015年4月1日見込み)

区分	計
津波	1
洪水	10
土砂災害	3
避難経路	1
崖地	1
合計	16

私は、「施設の老朽化と安全な保育環境への課題」の記述について

3月18日の厚生常任委員会では既報の通り、保育園の再配置等に係る第2期計画(案)が審議されました。計画期間は平成27年度から30年度までの4年間です。

## 保育園での災害対策は万全に

億3500万円の)当初の規模程度にすべき」が17・7%、「いつたん白紙に戻す」が67・6%と、圧倒的多数の回答が現在の基本設計による建設には異議を唱えるものとなっていました。

てふれ、「災害リスクについては、どういふなかで被害に遭う可能性があるのかかわからないと困る。安全を最優先して考えるなら、計画のなかで数字的にまとめるだけでなく、個別の保育園でどう安全を確保するかが明確になっていないといけない」と指摘しました。

これにたいして、担当課長は、「(本計画には載っていないが)保育園についてはそれぞれ整備計画を作っていて、それに基づいて整備を進めている。崖地は定期的な点検をしている」と答えました。今後もしっかりとやってほしいものです。



2月24日、わが家の近くにあるマンサクが黄色の花を咲かせました。昨年3月6日に開花しましたので、今年はかなり早いです。毎年のことながら、この花が咲くと、うきうきした気分になります。

## 3月議会審議日程 (開始時間はいずれも午前10時)

月 日	会議名	会議室名	備考
3月 3日 (火)	本会議	議場	提案説明・総括質疑
3月 4日 (水)	本会議	議場	総括質疑
3月 5日 (木)	文教経済委員会	第1委員会室	平良木議員担当
3月 6日 (金)	文教経済委員会	第1委員会室	同上
3月 9日 (月)	厚生委員会	第1委員会室	橋爪担当
3月10日 (火)	厚生委員会	第1委員会室	同上
3月11日 (水)	建設企業委員会	第1委員会室	
3月12日 (木)	建設企業委員会	第1委員会室	
3月16日 (月)	総務委員会	第1委員会室	上野議員担当
3月17日 (火)	総務委員会	第1委員会室	同上
3月19日 (木)	本会議	議場	一般質問
3月20日 (金)	本会議	議場	一般質問
3月23日 (月)	本会議	議場	一般質問
3月24日 (火)	本会議	議場	一般質問
3月26日 (木)	本会議	議場	採決

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1698 2015.3.1

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第三四六回

## 冷たいお茶

このところ忙しくて母の顔もろくに見ていません。母との親子の会話もほとんどなしの状態が続いています。朝早い時間に家を出て事務所まで仕事をし、そのまま外に出て、夜遅く、母が寝ている時間に家に戻る生活が続いているからです。

そうしたなかで先週は、わずかな時間ですが、二回ほど母と話ができました。一回目は宣伝活動が一区切りしたある日の午後、それも夕方に近い時間帯でした。母が少し前に、「ツバキが赤くなってきたな」と言った言葉が気になり、明るい時に見ておきたいと思って家にいったん戻ったのです。

わが家には高崎の親戚からももらったツバキの木と父が植えたものと思われるツバキの木の本があります。そのうちの一本は高さが二メートルほど、きゅつとしまった赤いつぼみをいくつかつけていました。写真に撮り、「これか、おまんの言うツバキは」と訊くと、「うん、そうだねかな」と頼りない返事でした。でも間違いなさそうです。

この日、母とは一五分ほど一緒にいました。母からは話が次々出てきます。「ツバキが咲いたすけ、春になったな」とか、「橋の工事で、でつけ機械がぐるぐるまわって穴開けているがだ」など身近に起きていることをいくつか教えてくれました。

母はいま、一週間に二度デイサービスに行っています。あとの日はほとんどコタツに入ってじいっとテレビを見ていることが多くなっています。大好きだったコンニャクづくりもやめてしまいました。そんな具合ですから、たまに昔から付き合いのある誰かが訪ねてきて、話し相手になってくださるときはとてもうれいようです。

居間のコタツの上のテーブルにはこの日、梅の焼酎漬けやコンニャクなどが並んでいました。梅の焼酎漬けは二種類、母が作った焼酎漬けが入ったものが一皿あり、その他にも一皿ありました。こちらは氷砂糖が入った焼酎漬けです。隣集落に住むチコさんからももらったものとか。地元商店・角屋さんに買い物にきたというチコさんが母の様子を見に寄ってくれたのです。ありがたいですね。母には「梅、うんめすけ食べてみる」とすすめられました。

コンニャクは菖蒲のあるおばあちゃんからもらったものです。梅にしみ込んだ酒で顔が赤くなつては困るので、コンニャクばかり食べながら母の話を聞きました。味は母の手づくりのものに負けないくらいおいしいものでした。食べ始めてまもなく、母は台所へ行き、急須（きゅうす）を持って居間に来ました。急須から湯呑みに入れ、「お茶、飲めや」と言われたので、口をつけました。口をつけた瞬間、びっくりしてしまいました。中に入ったものはお湯ではなく、水だったのです。

「水だね」と母に言うと、「ほしや、ポットのスイッチ入ってなかったがだろかな」と言いながら台所へ確かめに行きました。私もついて行くと、ポットのスイッチは入っています。ただ、温度の表示は一五度になっていました。どこでこうなったのかはわかりませんが、母が急須に注いだ時に水だということに気が付かなかったのが気になりました。

二日ほどおいてまた母と話ができました。この日も夕方、五時近くになってでした。母はフキノトウを採るために三輪自転車に乗って出かけようとしていました。母はもうすぐ九一歳。もう自転車に乗るのをやめたのかと思っていたので、うれしくなりまし。た。「氣いつけないや」と言うと、母は「おーっ」と言ってペダルをこぎ出しました。

## 藤野新衆院議員迎え、政治に春を呼ぶ集い

日本共産党上越地区委員会は22日、12月の総選挙で北陸信越ブロック比例代表で当選した藤野保史新衆院議員を頸城区の希望館に迎え、集いを開催しました。頸城区内外から

350人が集まりました。

初質問を2日後に控えた藤野新衆院議員は、総選挙後、思いがけない団体から懇談や要請があり、期待や変化が広がっていることを紹介した後、「5月の連休後には安倍政権が戦争への国づくりの法制化に乗り出す。4月のいっせい地方選で戦争ノーマラシを守れの声を集め、安倍政権に厳しい審判を下そう。そのためにも日本共産党へのご支援を」と訴えました。

私は、78歳のお母さんの「戦争だけは絶対しないようにしてくんない」という訴えを紹介するとともに、かつて仲良しだった吉川区坪野のKさんの戦争体験文を引用し、安倍内閣の「戦争する国」づくりを批判。「Kさんは昭和15年7月3日に子どもを出産したが、出産の2時間後に夫への赤紙が来た。女性に二度とこのような悲しいをさせてはなりません」と訴えました。

また、県政に春を呼ぶために、「柏崎刈羽原子力発電所は絶対に再稼働させてはならない。自然エネルギーへの転換を」「農業大県にふさわしい農業振興基本条例を制定し、県農業を守っていこう」「民生費全国最下位から脱却し、いのち、健康をしっかりと守れる県政に」と呼びかけました。

終わってから、北部ブロックの「新春のつどい」にも参加しました。フラダンスや歌謡曲などを楽しみました。お忙しい中、お集まりいただいた皆さん、ありがとうございました。写真は国会報告する藤野議員。



### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月18日(水)	2月25日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.050	0.047
東頸消防署	0.050	0.040
高士分遣所	0.043	0.040
名立分遣所	0.050	0.060